

イノシシとの正しい付き合い方

～誤解も多い、分かっているようで分かっていない身近な生き物～

三郷町は、山林を背景に住宅地がひろがっており、近年信貴山を中心にイノシシによる被害が拡大し、住宅地にまで、イノシシの出没が相次いでいます。幸いにも人身被害はまだ、起きていませんが起こる可能性がないとは言えません。イノシシ対策は行政だけでは限界があります。住民の皆様のご協力がなければ根本的な解決はできません。

このチラシは皆様にイノシシ対策の参考にさせていただくため作成しました。

特徴

- ◎体長は平均 100～130 cm、体重は約 50 kg～100 kg
- ◎平均寿命は 5～10 年
- ◎年 1 回、4～6 月頃、平均 5～6 頭の子供を産む。
- ◎ジャンプ力は約 1.2m
- ◎鼻で 60 kg の物を押し上げる力がある。
- ◎視覚は弱く、まず初めに何でも”鼻”で触り、臭いを嗅ぎ、動かし、その後目で確認するといった”嗅覚”の動物である。
- ◎後ろ向きのキバを持っている。(ただしオスに限る)
- ◎性格は臆病で、穏和で人に慣れやすく、学習能力が高い。



誤解されている特徴

- ◎夜行性のイメージがありますが、人目のつかない山林内では、昼間に行動をする昼行性の動物である。
- ◎イノシシは大きなキバを持ち、疾走しているイメージがありませんか(?_?)。でも、そんなことはありません。理由もなく疾走することはありません。イノシシの場合は、逃げるときに疾走します。

イノシシはどんな所に住み、何を食べているのだろう



★ 住

山の動物と思われがちですが、私たち人間とまったく同じ標高に住む動物です。近年は農地の耕作放棄地なども絶好の生息場所となっています。

★ 食

雑食性で何でも食べ、その中味は新葉、地下茎や根、地上に落ちた木の実などの植物質がほとんどですが、昆虫の幼虫やミミズ、サワガニ、カエルなども食べます。

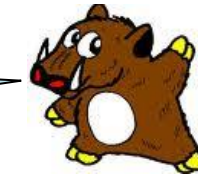
〔最近の住宅街へのイノシシの出没は、生ゴミなどが原因であると考えられています〕



イノシシと出会ったらどうしたらいいのだろう

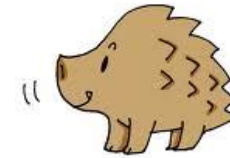
イノシシはもともと臆病な動物なので、普通の状態（人を気にしないでゆっくりと歩いている、エサを食べているなど）のイノシシは人に出会っても襲いかかってくることはほとんどありませんが、イノシシが興奮しているとき（牙を鳴らして音を出している。毛を逆立てている。慌ただしく走り回っている。地面を足で引っ掻いている時）には注意が必要です。

ぼくに近づかないで



- ◎遠くでイノシシを見つけたときは、そのままイノシシから見えないうちに離れてください。
- ◎小さな子供のイノシシでも近くに母親がいるので近づかないでください。

落ち着いて行動して



- ◎普通の状態のイノシシと出会ったら慌てて走り出したりせずに落ち着いて、速やかにその場から立ち去ってください。
- ◎イノシシの進路（通り道）をふさがないようにください。

ぼくたちを刺激しないで



- ◎イノシシと出会ったときに、大声を出したり、イヌをけしかけたり、物を投げたり、棒で追い立てたりすると、イノシシが興奮して人を襲ってくる可能性がありますので、刺激しないでください。
- ◎イノシシがケガをしているときや、住宅街へ迷い込んでいる時は、興奮している可能性が高いので、イノシシを見つけたら速やかに安全な場所（ブロック塀の裏や家の中など、イノシシから見えないうち）へ避難してください。

ぼくたちにエサを与えないで



- ◎イノシシにエサを与えると、民家の近くに居着いてしまう可能性があるため、小さな子供のイノシシでもエサは絶対に与えないでください。
- ◎民家の近くにイノシシのエサとなる野菜くずなどを放置すると、イノシシのエサ場になってしまう可能性があるため放置しないでください。

イノシシの出没情報や被害などがありましたら、下記にご連絡ください。

【連絡先】三郷町ものづくり振興課（43-7343（直通））